

2019年10月29日

投資家の皆様へ

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

**「PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド(年1回決算型)」<愛称:ハイイールドプラス/年1> 6ファンド**  
**信託終了(繰上償還)(予定)のお知らせ**

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社では、標記のファンドにつきまして、下記のとおり信託終了(繰上償還)に関する書面決議を実施させていただきます。この信託終了(繰上償還)は、「投資信託及び投資法人に関する法律」(以下、「投信法」といいます。)および「投資信託約款」(以下、「約款」といいます。)の規定にもとづき、ファンド毎に書面決議を行ったうえで決定いたします。

対象ファンドへの投資をご検討いただく際には十分ご注意くださいよう、よろしく願いいたします。

敬具

記

## 1. 対象ファンド

- ・ PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド(年1回決算型)(円コース)  
 <愛称:ハイイールドプラス/年1(円コース)>
- ・ PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド(年1回決算型)(ブラジル・リアルコース)  
 <愛称:ハイイールドプラス/年1(ブラジル・リアルコース)>
- ・ PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド(年1回決算型)(豪ドルコース)  
 <愛称:ハイイールドプラス/年1(豪ドルコース)>
- ・ PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド(年1回決算型)(米ドルコース)  
 <愛称:ハイイールドプラス/年1(米ドルコース)>
- ・ PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド(年1回決算型)(トルコ・リラコース)  
 <愛称:ハイイールドプラス/年1(トルコ・リラコース)>
- ・ PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド(年1回決算型)(メキシコ・ペソコース)  
 <愛称:ハイイールドプラス/年1(メキシコ・ペソコース)>

## 2. 信託終了(繰上償還)に関する書面決議を実施する理由

上記「1. 対象ファンド」に記載された各ファンドとも、受益権の口数が約款の信託終了(繰上償還)に関する規定に定められている口数(10億口)を下回る状態が続いているため、同規定に基づき「各ファンドの信託終了(繰上償還)」(以下「本議案」という場合があります。)に関する書面決議を実施させていただくものです。

### 3. 書面決議および信託終了（繰上償還）の可否決定について

<日程>

内容	日付
対象受益者の確定日（※）	2019年10月31日
議決権行使期間	2019年11月20日～12月4日
書面決議日 （信託終了（繰上償還）可否決定日）	2019年12月6日
信託終了（繰上償還）日【予定】	2019年12月25日

※2019年10月31日時点の受益者様（以下、「対象受益者」といいます。）が保有しているファンドについて議決権の行使を行うことができます。なお、2019年10月30日付以降の受付となるお申込みにより取得された受益権、および2019年10月29日付以前の受付となるお申込みにより換金（解約）された受益権については、本議案に関する議決権はありません。

2019年12月6日に、ファンド毎に信託終了（繰上償還）に関する書面決議を実施します。投信法および約款の規定に基づき、本議案は、対象受益者の3分の2以上の賛成により可決されます。

ただし、「PIMCO 米国ハイイールド債券 通貨選択型ファンド（年1回決算型）」シリーズは、6コースで構成され、各コース間でスイッチング可能という商品性を有しております。そのため同シリーズの商品性維持の観点から、信託終了（繰上償還）の実施可否につきましては、書面決議の結果を踏まえて以下のとおり決定させていただきます。

#### ①信託終了（繰上償還）を実施するケース

書面決議の結果、6ファンドすべてにおいて、賛成する受益者様（賛成とみなされた受益者様を含みます。以下同じ。）の受益権口数の合計が、対象受益者の受益権総口数の3分の2以上となり可決となった場合、全6ファンドについて2019年12月25日に信託を終了（繰上償還）します。

#### ②信託終了（繰上償還）を中止するケース

書面決議の結果、6ファンドのうち1ファンドでも賛成する受益者様の受益権口数の合計が、対象受益者の受益権総口数の3分の2未満となり否決された場合、全6ファンドについて信託を終了（繰上償還）しません。

以上